天橋立について AMANOHASHIDATE 🍪

天橋立は陸前(宮城県)の松島、安芸(広島県)の宮島と共に日本 三景の一つに数えられる景勝地である。

「丹後国風土記逸文」に、国を生まれた伊弉諾尊(いざなぎのみこと) が天に通うために梯(はし)を作られたが、命(みこと)が寝ていられる間 に倒れ伏したという記事があり、これが名の起こりである。

「日本三景」という発想が最初に見られるのは林春斎が寛永20年(1643) に天橋立を松島・厳島とともに「三処奇観たり」と述べた『日本国事跡考』。 その後元禄2年(1689)に福岡藩の儒学者、貝原益軒が天橋立を旅行 した記録『己巳紀行』の中に初めて「日本三景」という言葉が登場する。

神秘的で美しい姿は、野田川から流れ出る砂粒と外海から流れ来る 砂粒とがぶつかり合って出来たと考えられる。約500年前に描かれた雪 舟画の国宝天橋立図には現在より短い天橋立が描かれている。

ノスタルジック天橋立(大正〜昭和初期) NOSTALGI



相ケーブルカーより天橋立を望む



傘松の山路を登下する籠乗と天橋の遠望

文殊堂十日ゑびす 商売繁盛と智恵を授かる日。 籠神社葵祭(府中祭り)

イベント案内





人の力で廻していた頃の廻旋橋 EVENT 😛 2500年の歴史を誇る丹後最古の祭り

天橋立・府中海水浴場海開き 2つの海水浴場で海開きの神事などが行われる。 天橋立まち灯り 天橋立の砂浜を毎晩ライトアップ 期間中は様々なイベントを開催。

天橋立文殊堂「出船祭」 がり火で彩られた廻旋橋の周辺で金銀の龍が舞う。 成相寺千日まいり

の日、成相寺本尊に詣れば千日分のご利益。

宮津燈籠流し花火大会 精霊船を囲むように流れる追っ掛け燈籠と、打ち上げ花火が見事。 丹後きものまつりin天橋立

に橋立を会場にきものショーなどが行われる。 日本三景天橋立ふゆ花火 の澄んだ空と天の架け橋に花火が舞い上がる。

成相寺紅葉ライトアップ

成相寺境内の紅葉や、本堂・五重の塔などを



R山陰本線·京都丹後鉄道宮福線経由

京都▶福知山▶宮津·天橋立 約1時間40分 R山陰本線·JR舞鶴線·京都丹後鉄道宮舞線経由 京都▶綾部▶西舞鶴▶丹後由良▶宮津·天橋立 約2時間 お 京都縦貫自動車道 京都 ▶ 水 歩 り へ 京都▶沓掛IC▶宮津天橋立IC▶宮津·天橋立 約1時間15分

型 JR福知山線·京都丹後鉄道宮福線経由 大阪·神戸方面▶福知山▶宮津·天橋立 約2時間] 中国自動車道・舞鶴若狭自動車道・京都縦貫自動車道 大阪·神戸方面▶吉川JCT▶綾部JCT▶宮津天橋立IC▶宮津·天橋立 約1時間40分

型 新幹線・JR山陰本線・京都丹後鉄道宮福線経由 で 名古屋方面▶京都▶福知山▶宮津・天橋立約2時間30分~3時間

名神高谏道路•京都縦貫自動車道 名古屋方面▶大山崎JCT▶宮津天橋立IC▶宮津·天橋立 約3時間20分



国宝「海部氏系図」重文「神前 狛犬 | などを所蔵する丹後随一 の格式のある古社。丹後一の宮。 高欄上の五色の座玉は神宮と 云われる。重要文化財。 こちらにしか見られない。

西国28番札所として多くの参拝 者が訪れる。悲話を伝える撞か ずの鐘、底なし池、美人観音・聖 観世音菩薩。しゃくなげの名所。

フイライト・レールロード (ごう)

太陽が真横から松林を照らす夕暮

れ時、天橋立が「海を渡る線路」

のように見えるロマンチックな現

象。府中・文珠の入り口や中間

古代より知られる文殊菩薩の霊

場で、日本三文殊の一つ。丹後

地方最大の山門、国指定重要

文化財の多宝塔をはじめ貴重な

地点で見られる。

文化財が多い。

コハクチョウ飛来地 H-9

(33m)

平成12年、開基1300年を迎え

るにあたり、雪舟筆「天橋立図」

にも描かれた五重の塔を復元。

平面は方三間、高さは百八尺

斗後一の宮の狛犬 🖼

社頭の狛犬二基は鎌倉時代の

作。石造狛犬として日本一の名

作との定評があり魔除の狛犬と



冬になると遠くシベリアから飛来 する渡鳥たちの中でひときわ美 しい「冬の妖精」コハクチョウ。 11月下旬~3月中頃。平均12羽 ~16羽(最高24羽)

N-6

宝暦12年(1762)に着工、7年 の歳月と大工延べ8,780人を要 して再建された禅宗様式の山門 である。丹後地方で最大規模を

P-11 与謝野寛·晶子ご夫妻歌碑 M²9 近代を代表する歌人、与謝野晶

天橋立の南側、小天橋にはまなす の群生地が広がっている。見ごろ は4月下旬~6月初旬、年によって は5月下旬まで。遊歩道も整備され ており、散策コースとして人気がある。



リフトやモノレールで海抜130m の山上へ。ここからの天橋立の 眺望は龍が天に向かって昇って いくように見えることから「飛龍観」

桃山時代の武将、細川幽斎が

子は夫の寛と共に幾度も天橋

立を吟行した。平成18年に建立

された夫妻の歌碑を天橋立内で

見ることができる。

宮津城を築いた折に吉野の桜を 植えたことに由来。天橋立眺望 四大観の一つ。天橋立駅より徒 歩10分。

※各施設の料金・営業時間・定休日等は、平成29年(2017)9月現在のものです。



籠神社の奥宮。主祭神は伊勢 神宮と同体の豊受大神でこちら から伊勢に遷されたと伝えられる。 地場エネルギーが高いとされ芸 能人も多く訪れる格式ある古社。



「左甚五郎」作と伝えられている。 成相寺境内にあるほとんどの龍 は横向きに作られているが、この 龍は珍しく正面を向いている。

伊根の舟屋が有名だが、府中 地区にも天橋立を正面にして約 30軒ほどの舟屋がある。阿蘇海 の観光船から見る事ができる。



「九世の渡」の安全を守る輪灯 籠であり、享保11年(1726)の 刊行物にも描かれている。3回く ぐると智恵を授かるとの言い伝え がある。



海に囲まれながら真水が湧き出 る不思議な名水。「一口は げに 千金の磯清水」と俳句にも詠まれ、 永く珍重されてきた。日本名水 百選の一つ。



天橋立観光の拠点となる駅。構 内に観光案内所がある。駅前広 場は、天橋立の「白砂青松」をイ メージして作られている。



ケーブルカーまたはリフトで登る 天橋立「股のぞき」の名所。股 からのぞくと天地が逆さになり、 天に架かる橋のように見える。



丹後地域の貴重な歴史、民俗、 考古の資料が展示、収蔵されて いる資料館。 開 館/9:00~16:30

休館日/毎週月曜

|天橋立ワイナリー (G-4)|



生ブドウ100%で加熱処理を施 さない "生ワイン" を製造・販売 している。天橋立を望む立地も 魅力的。 営業時間/10:00 ~17:00 定休日/水曜日



文珠地区と天橋立を結ぶ橋で、 船が運河を通る度に90度回る。 回数は多い日で約50回。昭和 35年に現在の橋が完成するま では手動だった。



正面は豊受大神、向かって左は 大川大明神、右は八大龍王(海 神)である。元伊勢を移したとの 附説もあるが、文殊堂境内鎮守 と考えられる。

天橋立温泉 智恵の湯 (Q゚ープ)



宮津唯一の外湯。智恩寺文殊菩薩の 智恵と健康が授かるようにと命名され た。入浴料/大人700円、子供350円 営業時間/12:00~22:00(各日入 館は21:00まで) 定休日/毎週水曜日

成相寺の身代わり観音様から授 かったという霊験あらたかな湯。 府中温泉組合の旅館の内湯で 浸かることができる。泉質はアル カリ性単純泉。



府中が国府として栄えた頃、天 橋立を見下ろす高台に絶好の 立地として建てられた国分寺の 跡が残っている。

|天橋立·府中海水浴場 (Millin)



日本三景「天橋立」で海水浴を 楽しむことができる。ビーチは文 珠地区の「天橋立海水浴場」と 府中地区の「天橋立府中海水 浴場」の2ヶ所。



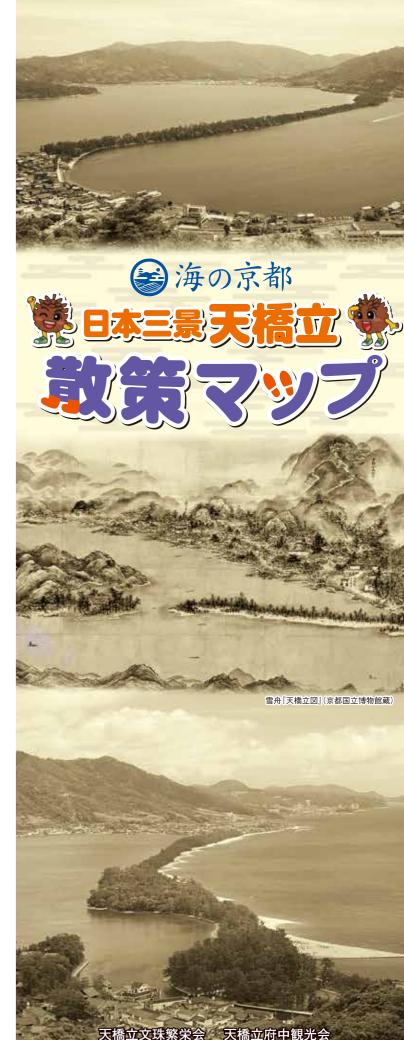
天保15年(1844)に大阪の商人・ 大和屋藤兵衛が、宮津の有力 商人を世話人に頼み、文殊・船 着場の灯明台として寄附したも のである。

岩見重太郎 L-9:M-10

桃山時代の剣豪、 岩見重太郎兼相 は父の仇を追って宮津に入り、天 橋立において本望をとげたと伝 わる。試し斬りの石も残っている。



涙ヶ磯は世阿弥の謡曲「丹後 物狂」の舞台であり、屋島の源 平合戦で敗れた平忠房の白拍 子が捜索の目をくらますために身 投げしたという悲話も伝わる。



問い合わせ先 TEL:0772-22-8030天橋立駅観光案内所

RL:http://www.amanohashidate.jp/

